

千葉科学大学 野球部が千葉県2部リーグに昇格

11月4日(月)、千葉県大学野球3部リーグで優勝し、千葉工業大学西浜球場で2部入れ替え戦を戦っていた野球部が最終戦で千葉大に4対2で勝利し(通算成績2勝1敗)、来シーズンからの2部リーグ昇格の切符を手に入れました。

試合は2点先行されながらも4回裏に追いつき、6回裏に勝ち越し点を奪い、そのまま逃げ切り2点差で勝利しました。春季3部リーグにおいても優勝し、入れ替え戦で千葉大学に敗れていた千葉科学大学にとって、悲願の2部昇格となりました。



歓喜の胴上げ

地域活性化を目指し、銚子7団体と包括連携協定締結へ各団体との協力でCOC事業への促進に期待

10月8日(水)銚子の地域発展の貢献を共通の目的とした千葉科学大学と地元銚子の7団体(銚子市観光協会、銚子市漁業協同組合、ちばみどり農業協同組合、銚子市青年会議所、銚子市町内会連合協議会、銚子市社会福祉協議会、銚子中心市街地活性化研究会)との連携協力に関する協定が結ばれました。調印の挨拶では、各団体とも銚子の活性化を目指し「ALL銚子で頑張りたい」と抱負が述べられ、赤木靖春学長も「これまで、ジオパークなど地域の中での存在感を高めてきており、これからも地域活性化のため、小さなことからでも結果を残していきたい」と語られました。

今後、地域振興のためこれまで協定を結んだ団体、銚子市、そして今回協定を結んだ各団体と協力し合いながらCOC事業が進むことが期待されます。



包括連携協定調印式

加計学園 広島県安芸太田町との包括連携協定を調印



(左から)加計孝太郎理事長、立会人加計正弘社長、小坂眞治安芸太田町長

11月10日(月)、学校法人加計学園は、広島県安芸太田町と包括連携協定を締結した。この日、加計学園創立50周年記念館3階で行われた調印式には、関係者およそ50名が出席し、広島県安芸太田町小坂眞治町長と立会人の日新林業株式会社加計正弘社長、加計学園加計孝太郎理事長が協定書に署名、調印した。

協定は、「地域づくり、街づくりの推進」「観光・産業振興など地域経済の発展」「生物多様性と自然環境の保全」などの分野において、同町と学園が協力して取り組んでいくこととしている。安芸太田町は広島県北部の中山間地域に所在する林業の盛んな町で、三段峡など自然景観の美しい町である。同町としては、今回の包括連携協定を契機に、観光振興、新しい産業の創出などに取り組みたいと期待しており、学園としても積極的に協力してゆくことで合意した。

学園からは協定の締結を記念して、岡山理科大学で研究中の好適環境水の展示水槽を同町の道の駅「来夢とごうち」に寄贈、11月25日(火)現地披露された。自治体への好適環境水展示水槽の設置は今回が初めてとなる。

また、本件の調印で、学園が県外の自治体と包括連携協定を結ぶのは鹿児島県瀬戸内町に引き続き2例目となった。



展示水槽寄贈

学校法人加計学園 〒700-0005 岡山市北区理大町1-1 TEL.086-256-8403 <http://www.kake.ac.jp/>

倉敷芸術科学大学 〒712-8505 岡山県倉敷市連島町西之浦2640 (URL) <http://www.kusa.ac.jp/>

千葉科学大学 〒288-0025 千葉県銚子市潮見町3 (URL) <http://www.cis.ac.jp/>

玉野総合医療専門学校 〒706-0002 岡山県玉野市築港1-1-20 (URL) <http://www.tamasen.ac.jp/>

岡山理科大学附属高等学校 〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1 (URL) <http://www.ridaifu.net/>

御影インターナショナルこども園 〒658-0047 兵庫県神戸市東灘区御影2-15-27 (URL) <http://www.kake.ac.jp/mik/>

英数学館小・中・高等学校 〒721-8502 広島県福山市引野町980-1 (URL) <http://www.eisu-ejs.ac.jp/>

岡山理科大学 〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1 (URL) <http://www.ous.ac.jp/>

岡山理科大学専門学校 〒700-0003 岡山県岡山市北区半田町8-3 (URL) <http://www.risen.ac.jp/>

岡山理科大学附属中学校 〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1 (URL) <http://www.kake.ac.jp/~info-j/>

吉備高原学園高等学校 〒709-2393 岡山県加賀郡吉備中央町上野2400 (URL) <http://www.kibikogengakuen.ed.jp/>

KAKE NEWS

学校法人加計学園通信 第7号

発行元

学校法人加計学園広報室
岡山市北区理大町1-1
TEL 086-256-8609

ひとりひとりの若人が持つ
能力を最大限に引き出し
技術者として 社会人として
社会に貢献できる人材を養成する

岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・千葉科学大学・岡山理科大学専門学校・玉野総合医療専門学校・岡山理科大学附属高等学校・岡山理科大学附属中学校・御影インターナショナルこども園

第21回ワンデーエクササイズで最優秀賞とOKC賞のダブル受賞

岡山理科大学専門学校

岡山理科大学専門学校 建築学科のチーム(建築学科専攻科と昼間部2年生によるチーム)が、岡山建築設計クラブ(OKC)主催の第21回ワンデーエクササイズにおいて最優秀賞を受賞しました。さらにOKC会員の投票によって与えられるOKC賞も受賞してのダブル受賞という大変名誉な結果となりました。

今年で21回目となるこのワンデーエクササイズは、毎年岡山県で建築を学ぶ学生が参加して岡山のまちづくりを競う設計コンクールで、県内最大のイベントとして建築を学ぶ学生たちの目標であり、励みとなっているものです。今年のテーマは、児島湖畔の敷地を対象として「周辺の環境整備に寄与する施設の提案」を求めるもので、岡山市内の3つの大学と2つの専門学校から9チーム85名が参加して様々なアイデアを競い合いました。そして最優秀賞を受賞した案は、全長250mの水質ろ過装置を配した長いプロムナードを中心とした環境改善のアイデアを表現したもので、審査委員長の前田圭介氏(UID建築事務所主宰、JIA日本建築家協会新人賞受賞)から、その独創性や完成度において最も高い評価を頂きました。



最優秀賞受賞

独創性や完成度において
最も高い評価

また、本校から参加したもう1チームは、残念ながら入賞には至りませんでした。1年生ながら斬新なアイデアと完成度の高い模型が評価され、今後が期待されます。なお、本校は第1回からこの設計コンクールに参加をしており、過去5回の最優秀賞、8回の優秀賞をはじめ、奨励賞・特別賞7回、OKC賞3回という輝かしい受賞歴があり、学生の大きな励みとなっています。

岡山理科大学附属高等学校 「ナミテントウの交配に関する研究」が全国で入選1等受賞 生命動物コース3年・7名

生命動物コース3年生37名は、「生命動物実習Ⅲ」の授業の中で6つのグループに分かれ、様々なテーマの課題研究を行っています。中でも「ナミテントウの交配に関する研究」は大変興味深く、第58回日本学生科学賞への応募を勧めたところ、岡山県審査会で2番目に当たる県教育長賞を頂き、中央予備審査では全国16番目に当たる入選1等を頂くことができました。

ナミテントウは野菜等の生産において収穫量の減少等を招く害虫アブラムシの天敵で、「飛ばないナミテントウ」が今年6月から生物農薬として発売されており、遺伝の研究は重要です。約80年前に研究されたナミテントウの斑紋の遺伝の結果をもとに、多くの研究がなされていますが、今回の研究で約半数の結果が先行研究とは異なり、新たな仮説を立てて説明しました。この研究は、雌雄の判別が難しい上に餌のアブラムシの確保が大変で、困難な研究を7人で協力して詳細に記録をとりながら行ったことが評価されました。今後は後輩たちが研究を引き継ぎ、さらに詳しく解明して欲しいと思います。



後列左から 大河 一、橋本拓未、黒岩拓哉、渡邊仁亨
前列左から 橋本隆太、橋本拓人、松村 友

倉敷芸術科学大学 『花』をテーマに芸科祭開催

10月25日(土)・26日(日)の2日間、『花』をテーマに20回目となる大学祭『芸科祭』を開催しました。模擬店やパネル展示だけでなく、学生の陶芸作品やガラス工芸作品の販売、打ち上げ花火をおこなうのが芸科祭の特徴です。また、25日には『DISH//』と『吉田山田』による芸科祭ライブがあり、過去最高の830名が来場し、熱のこもったライブに盛り上がっていました。



ガラス工芸作品販売ブース

また、芸科祭期間中、『経営情報学科 mini オープンキャンパス』『生命科学科オリジナルオープンキャンパス』『保護者対象オープンキャンパス』も開催され、両日とも多数の高校生とその保護者で賑わっていました。



芸科祭会場

御影インターナショナルこども園 「ハロウィンパーティー」開催

御影インターナショナルこども園では、毎月その季節に合った催しを行っています。10月31日(金)は、ハロウィンパーティーを行いました。

思い思いの仮装をして遊戯室に集合し、ハロウィンの由来や風習などのお話を聞きました。そして全員でハロウィンダンスを踊りました。ペンギンクラス(3歳児クラス)とパンダクラス(2歳児クラス)の園児は、仮装姿で街をお散歩しました。ペンギンクラスの園児は、お散歩をする前にイメージジョントチャーから2つのミッションを与えられました。1つは、御影駅前の魚屋さんに「hello!」の挨拶をすること。2つめは、園に帰って自分の名前カードを見つけること。パンダクラスのミッションは、近くの民家で飼っているオウムを探しに行くことでした。他のクラスも、それぞれに与えられたミッションをクリアし、お菓子をもらいました!

先生たちも仮装していたので、いつもと違う姿に驚いて泣き出してしまふ園児もいましたが、賑やかで楽しいハロウィンパーティーになりました。



ハロウィンの仮装をした子どもたち

岡山理科大学附属高等学校 通信制課程 第7回文化祭開催!



オープニングセレモニーの様子

10月4日(土)、天候にも恵まれ、第7回通信制課程文化祭が開催されました。生徒主体となって、運営から企画まで考えて準備を進めてきました。前日には予行練習や、クラス企画の準備に取り掛かりました。ピタゴラスイッチの企画では、前々日から準備をし、当日はうまく装置が動いてくれるかどうか不安もあり、何度も繰り返し装置を作りました。実際はうまく作動しない部分もありましたが、満足いくものができたと思います。当日は150名以上の生徒・保護者の方が参加をしていただき、大変盛り上がりました。食堂内での全体企画では、クイズ大会やじゃんけん大会、ビンゴゲーム、バンド演奏がありました。模擬店の牛丼や、焼きそばの評判もよく、即完売の商品もありました。開催回数はまだ少ないですが、年々充実した文化祭になってきたので、来年も更に頑張りたいと思います。

吉備高原学園高等学校 「感孚風動」をテーマに文化祭開催

平成26年10月25日(土)、秋空の晴天のもと、文化祭(同袍祭)が盛大に開催されました。午前9時から開会式が行われ、「感孚風動」のテーマのもと生徒たちが企画した数々の催しが行われました。各々の専門コースに所属した生徒が取り組んできた作品の展示や販売、演技の発表、焼き菓子の販売、また、芸術科目履修生徒や文化系部活動に所属する生徒の作品展示や研究発表や演奏、生徒による模擬店(フランクフルトや焼き芋等)やPTAによる模擬店やバザー等様々な催しも行われました。地域の方々や本校の卒業生の方々、また本校の受験をお考えの中学生の方々とその保護者の方々など、大勢の方々がお越しになりました。

当校はお越しいただきました皆様に感謝を申し上げますとの気持ちを込めています。



生徒作品の展示

岡山理科大学附属中学校 入試シーズン到来

岡山理科大学附属中学校は、10月18日(土)入試説明会「適性検査対策講座」、11月5日(水)には、入試説明会と岡山理科大学生物地球学部の加藤先生による天体観測会を実施しました。入試直前の入試対策の情報と、大学と併設している岡山理科大学附属中学校の魅力満喫できるイベントで、述べ300名近い参加者を招きにぎわいました。

12月は、入試シーズン到来。自己推薦入学試験願書受付が、12月1日から、一次入学試験(A日程・B日程)願書受付が、12月9日から始まっています。今後も個別相談・見学は、随時実施しています。詳しくは、岡山理科大学附属中学校までお気軽にお問い合わせください。



入試説明会

岡山理科大学 「ドクショル講演会」開催

平成26年11月1日「ドクショル講演会」が、学外4名・学内26名の計30名の参加者を得て行われました。講演1では総合情報学部 社会情報学科 教授 木村邦彦先生より「読書の楽しみ」と題して講演が行われました。新聞を読むでもよいし、活字を読むということは、創造性を身につけることにもなる。まず興味を持てるものから、読書を通して、考える力を身につけてほしいとのことでした。



社会情報学科 教授 木村邦彦先生

講演2では生物地球学部 生物地球学科 講師 實吉玄貴先生より「恐竜の本を探せ!!」と題して行われました。恐竜を研究するという事は、どこでどのような骨が発見されたか、環境に関する知識、発掘先の国の文化に関する知識など、広範囲な分野の文献や図書が必要であることが説明されました。

講演会の後、図書館クイズの回答者の中から参加してくれた7名に記念品が贈呈され、拍手に包まれました。図書館見学では、21号館図書館の恐竜関係の図書「林原文庫」を見学していただきました。先の講演の通り、確かに色々な分野の図書があるのだと感じていただけたようでした。また、21号館では實吉先生により、国内では貴重な1体の骨格標本も展示されました。



生物地球学科 講師 實吉玄貴先生

玉野総合医療専門学校 アメリカ最新の医療・福祉を学ぶ 海外研修を実施!

玉野総合医療専門学校では、2014年度海外研修(アメリカ・シェネンドア大学)を実施。学生10名、引率教員2名、合計12名で臨みました。研修前半では、シェネンドア大学構内とウィンチェスター市内の医療・福祉などの施設で、現地の学生と交流しながら、アメリカ最新の医療・福祉について意欲的に学びました。また、市内の博物館や本物の宇宙服、スペースシャトルなどを見学しました。



現地の博物館にあるスペースシャトル

研修後半では、ワシントンDCのホワイトハウス、スミソニアン博物館などを見学。その後、西海岸に移動して本場のディズニーランドを満喫しました。オプションツアーではメキシコとの国境の町ティファナを観光するグループと、壮大なスケールのグランドキャニオンを観光する2つのグループに分かれ、それぞれ違ったアメリカの壮大さを体験しました。日本を飛び出し、アメリカの文化を楽しむと同時に、日本語

が通用しない世界で外国の方と触れ合うことで世界の広さを改めて感じたようです。

学校法人加計学園創設者 加計 勉氏は、敗戦で焼け野原になった広島街を見て、資源の無い日本が復興するためには教育しかないと思いを教育に捧げました。また同時に、世界中の人々と友達になれば戦争なんて起こらないと国際交流を積極的に推進してまいりました。若人たちの新しい出会いが、世界を輝く未来へと導いてくれることを願っています。



現地の学生との交流

英数学館小・中・高等学校 英数学館小で「2014学習発表会 Open House - School Concert」開催

毎年この時期になると、児童が日頃の学びの一端を表現する学習発表会が開催されます。今年度は11月15日(土)、これまで本校教育で培ってきた考える力、伝える力、そして団結する力で、大勢の児童・保護者を前にそれぞれが堂々と発表しました。

学校生活の約50~70%を英語に浸って過ごすイメージンクラスでは、英語によるミュージカル「アナと雪の女王~ Original Version」や劇「Fearless John」などを披露。また、本校の伝統を継承するアドバンストクラスでは、日本語と英語による影絵「スイミー」などにもチャレンジしました。そして両クラス合同による合唱・合奏や今年初めて取り組んだ和太鼓、さらに教員全員によるサプライズ合奏など、終始会場全体が盛り上がった中で、幕を閉じました。もうすぐ卒業を迎える6年生も、仲間と共にやり切ったこの思い出は、いつまでも忘れることはないでしょう。



学習発表会の様子